

Airly ハイウォール主なQ & A

【1】仕様・規格について

1. 標準規格は？
 - ・ パネル高さ GL+1800mm～2300mmまで 100mm単位
根入れ深さは、2000mmまで450mm 2300mmまで550mmとなります。
パネル働き幅は、500～900mmとなります。
※ GL+高さ2300mmを超える場合は、個別構造検討が必要（最大値 GL+3000mmまで実績あります）
※ パネル幅も現場に合わせた特寸対応可能です。
2. パネルの重さは？
 - ・ 重量は、標準最大サイズ 幅900mm高さ2850（GL+2300用）が53kg/枚となります。
 - ・ 特注サイズの場合でも、最大重量60kg/枚になるよう設計しています。

【2】構造・強度について

1. 転倒などの危険性はない？
 - ・ 建築基準法、日本建築学会設計基準に合わせて設計されていますのでご安心下さい。
 - ・ 電柱やガードレールと同じく受動土圧とコンクリートの重量により安定させています。
 - ・ 万が一想定外の力が作用して傾いたとしても、非常に軽い材料を使用しておりますので大きな被害にはいたりません。
2. 表面の強度は大丈夫？ Ex) 自転車や自動車がぶつかった場合は？
 - ・ 表面は樹脂モルタル+塗装やタイルで仕上げていただく仕様となっておりますので、大丈夫です。
樹脂モルタル+塗装の場合は、下地に塗布する樹脂モルタルの強度（ALC表面強度相当）になります。
また、地震力・風力などの外力に対して、パネルの変形は高さの1/250程度に収まるように設計しています。
 - ・ 自動車が激突した場合、折れることはありませんが、基礎（地面）から傾く可能性はあります。
ブロック塀のように壁面が崩壊することはありません。
また、ぶつけた際の凹みなどの補修は比較的容易にできます。
塗装を局部的に剥がし、凹んだ部分に「エポキシパテコンクリ用」で埋めた後、ペーパーなどで平滑に削ってから同じ塗料をローラーなどで塗れば補修できます。
3. 燃えない？
 - ・ 基材（表面）には自己消化作用のある材料を使用しておりますので、燃え広がることはありません。
 - ・ 仕上げに不燃材（＝下地モルタル（指定品）やタイル等）で覆うことにより、防火地域・準防火地域にも使用できます。
4. 防火壁として使用は可能？
 - ・ 防火構造への適合が必要になる場合は、不可となります。
「防火構造＝不燃材で覆う構造だけでは不可」となるため
5. 腐食はしない？
 - ・ 無機系材料（炭酸カルシウムを主材としたパネル）で覆っていますので腐食しません

【3】設計について

1. 確認申請は必要？ 建築基準法の取り扱いは？
 - ・ 建築確認申請の対象ではありません。理由は、本誌P29「Airlyハイウォール法的取扱いについて」にて解説
 - ・ 安全性に関する根拠を要求された場合は、構造計算書（建築基準法に示される計算方法に準拠した構造計算にて構造耐力上安全と示した資料）をご用意いたします。
標準規格は、構造計算書を弊社プロダクトサイト（<http://product.asachunet.co.jp/>）よりダウンロードできます。
また、当該物件の構造計算書を別途作成することもできます。
2. パネルの厚みを厚くすることは可能？
 - ・ 特注品として対応可能です。別途、お問い合わせ下さい。
3. 曲面（R面）対応は可能？
 - ・ 対応不可となります。
4. 土留め、擁壁として使用することは可能？
 - ・ 土留め、擁壁としての使用はできません。
ただし、隣地、敷地の段差が200mm以下であれば使用可能です。
5. 雪国での使用は可能？
 - ・ 除雪などの関係で片側に雪が積もりと偏圧力を受けることになるため使用できません。
6. 境界線ギリギリに建てられる？
 - ・ カウンターウエイトとして、根巻きコンクリートを四方に打設することが必要となります。
よって、境界線から最低100mmはオフセットする必要があります。
（構造検討によっては100mmを50mm程度にできる場合があります（別途個別検討要））

【4】施工について

1. 現場で自由に穴あけ加工は可能？
 - ・ 補強材（支柱）に干渉しないサイズの穴あけは可能です。干渉する場合は、個別設計検討が必要です。
2. タイルや石材仕上げは可能？
 - ・ 接着張り仕上げが可能です。
 - ・ 石材を想定して、表面仕上げ材の許容重量は 0.4kN/m²となっております。
3. 表札や照明、ポストなどの取り付けは可能？
 - ・ 樹脂製のボードアンカー（右写真：GLアンカー）を使用して取り付けることができます。
 - ・ 照明などの配線については、個別設計検討が必要です。ご相談下さい。

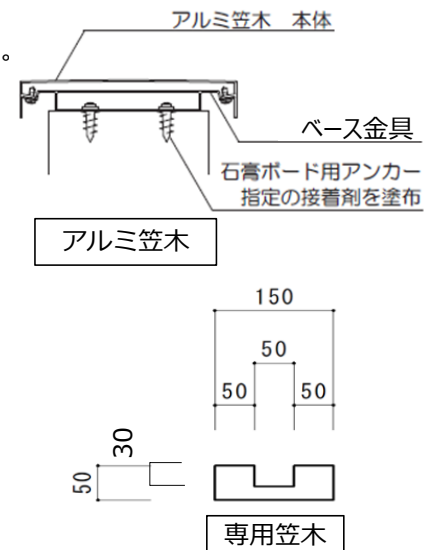


耐荷重：5kg/箇所

4. 施工のサポート体制はある？
 - ・ 本誌P10～15にて解説しています。別途、「施工要領書」もございます。材料納入時に添付させていただいております。
 - ・ 要請があれば、施工業者向けに施工指導サポートをすることも可能です。（費用が掛かる場合があります）

【5】副資材について

1. 下地モルタルのクラックは大丈夫？
 - ・ グラスファイバー入り超拘束型ポリマーセメント（指定品）と弾性塗料により、クラック発生を防ぎます。
 - ・ 施工範囲は、根巻きコンクリート天端から上を全面に施工してください。（厚みは4mm以上を確保する）
 - ・ すべての板間とボルト穴パッキン部にファイバーテープ（幅50mm程度）を貼り付けてその上からモルタルを扱くように入念に塗り込んでください。
2. なぜ、下地モルタルがエコアンダーⅢに指定？
 - ・ 通常の軽量モルタルはもちろん、ポリマーセメントでは、大きなクラックが発生します。
 - ・ エコアンダーⅢ（グラスファイバー入り超拘束型ポリマーセメント）にすることで、大幅にクラック発生を防ぎます。
3. 笠木は付けることができる？
 - ・ ブロック塀などに使われている厚み150用のアルミ笠木であれば取付可能です。（取付ベースがネジ固定のタイプであれば可能）
 - 取付ベースを固定する際、付属のネジやプラグは使用せずに、別途ボードアンカーをご用意いただき、弾性接着剤にて固定、取付ベースをステンレスビスで取付します。
 - または、Airlyハイウォールと同材の専用笠木もオプションでご用意できます。サイズは幅150×高さ50×長さ1800（上部に幅50深30の溝加工付き）
 - 取付方法は、弾性接着剤とステンレスビスの併用固定となります。（ビスは効かないので仮固定用として使用）



【6】価格・納期について

1. 施工費は概算でどれくらい？
 - ・ 当社では施工を請けておりません。
 - ・ 参考情報（実績値）として、塀の長さ15m程度なら、3人/日で建て込み+型枠まで可能です。（建て込み後即日、根巻きコンクリート打設可能です）
2. 発注（寸法確定含む）から出荷までどれくらい？
 - ・ 10m位までの塀（12枚程度）として、実働（土日祝除いて）14日（約20日間）要します。
 - ・ 20m位までの塀（23枚程度）として、実働 20日（約1ヶ月）要します。

Airlyハイウォール対応エリア

Airly ハイウォールは、施工地域の基準風速をもとに個別設計されています。(Vo=38m/s まで)
また、多雪区域には対応しておりませんのでご了承ください。
エリア外の地域については、ご相談ください。



関東エリア

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信エリア

山梨県、長野県の一部

東海エリア

愛知県、三重県、静岡県、岐阜県の一部

関西エリア

滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

中国エリア

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国エリア

香川県、愛媛県、徳島県、高知県の一部